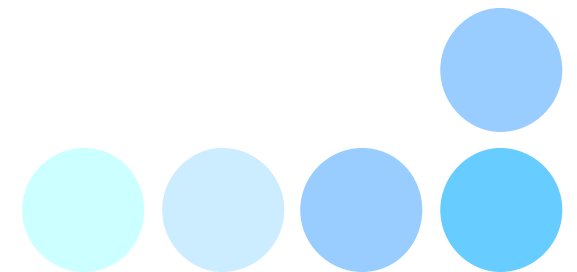


平成20年(2008年)3月期
第1四半期業績概況
～投資家様向け説明会～

2007年7月31日
オムロン株式会社



目次

2008年3月期 第1四半期業績概況と今後の見通し

1. エグゼクティブサマリー	P. 4
2. 第1四半期業績結果	P. 6
3. 上半期ならびに通期業績見通し	P. 21

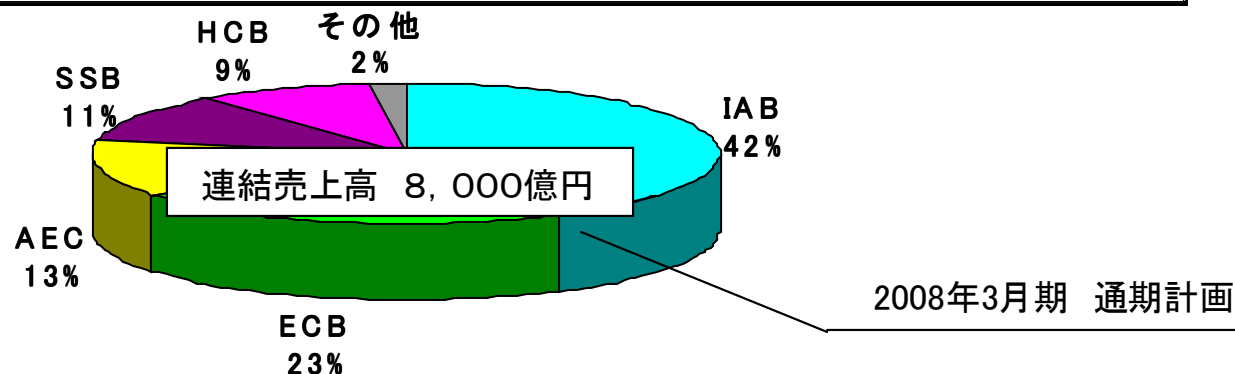
<注意事項>

1. 四半期の財務数値については、監査法人による監査・レビューを受けておりません。
2. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
3. 連結子会社数は163社、持分法適用関連会社数は23社です。
4. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii) 当社製品・サービスに対する需要動向、(iii) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv) 資金調達環境の大幅な変動、(v) 他社との提携・協力関係、(vi) 為替・株式市場の動向などがあります。
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。



主要事業／主要製品／売上高構成

制御機器／FAシステム	インダストリアルオートメーションビジネス
IAB	: センシング機器、コントロール機器、セーフティ機器 各種検査装置 等
電子部品	エレクトロニクスコンポーネンツビジネス
ECB	: リレー、スイッチ、コネクタ、液晶バックライト、アミューズメント機器用部品 モバイル機器搭載部品、光通信部品 等
車載電装部品	オートモティブエレクトロニクスコンポーネンツビジネス
AEC	: キーレスエントリーシステム、パワーウィンドウスイッチ、車載用リレー レーザーレーダー、タイヤ空気圧監視システム 等
社会システム	ソーシャルシステムズビジネス
SSB	: 自動改札機、自動券売機、道路情報提供システム セキュリティマネジメントシステム、顔認識システム 等
健康機器	ヘルスケアビジネス
HCB	: 電子血圧計、体組成計(体脂肪計)、電子体温計、歩数計 ネブライザー、業務用電子血圧計、健康サービス事業 等
その他	
その他	: パソコン周辺機器、RFID、エネルギーマネジメント等



1. エグゼクティブサマリー



エグゼクティブサマリー

2008年3月期はグランドデザイン2010(GD2010)の第2ステージ(2004年4月～2008年3月)の最終年度
 収益を伴った成長構造の実現への基盤を整える 「第2ステージゴールへ収益最注力」

第1四半期業績結果とポイント

* 米国財務会計基準に基づき、前年同期比および前期比は非継続事業組替後で計算

■ 売上、営業利益ともに前年同期比増加するも、計画未達

(連結業績)	実績	前年同期比	計画比	
売上高	1,761億円	115.1%	96.5%	
営業利益	97億円	104.1%	84.1%	(営業利益率 5.5%)
税前利益	120億円	89.7%	109.0%	(税前利益率 6.8%)
純利益	97億円	141.7%	102.3%	(純利益率 5.5%)

■ 連結売上高: 前年同期比15%増加は、M&A、為替影響などが主要因。

計画比4%未達は、制御機器(IAB)国内売上減少と電子部品(ECB)低調が主要因。

■ 営業利益: 前年同期比4%増加は、M&A、為替影響などが主要因。(詳細は差異分析 P10参照)

計画比16%未達は、売上の計画未達が主要因 (詳細は差異分析 P11参照)

■ 税前利益: 計画比9%増加は投資有価証券の売却などが主要因

■ 事業状況: 制御機器(IAB)国内と電子部品(ECB)事業が低調

2008年3月期通期業績見通しとポイント

■ 売上、営業利益ともに当初計画を変更しない

(連結業績見通し)	通期	前期比	
売上高	8,000億円	110.5%	
営業利益	750億円	120.9%	(営業利益率 9.4%)
税前利益	720億円	112.0%	(税前利益率 9.0%)
当期純利益	460億円	120.2%	(当期純利益率 5.8%)

2. 第1四半期業績結果



FY2007.1Q

連結損益計算書

売上高1,761億円 営業利益率5.5%
 連結売上・営業利益ともに前年同期比上回るも、計画未達
 非継続事業(インテグレーション事業)譲渡益31億円計上により四半期純利益は計画を上回る

(億円)

全社P/L	07/3期 1Q 実績	08/3期 1Q 実績	前年同期比 %	08/3期 1Q 計画	計画比 %
売上高	1,530	1,761	115.1%	1,825	96.5%
売上総利益	599	642	107.3%	680	94.4%
販管費	391	422	108.1%	420	100.6%
R&D費	115	123	106.9%	145	84.9%
営業利益	93	97	104.1%	115	84.1%
税引前利益	134	120	89.7%	110	109.0%
継続事業純利益	67	67	99.2%	-	-
非継続事業純利益	1	31	2197.1%	-	-
四半期純利益	69	97	141.7%	95	102.3%

<為替>

(円)

USDレート	114.8	121.6	6.8	115.0	6.6
EURレート	144.1	164.0	19.9	150.0	14.0

* 07/3期 1Q実績は非継続事業組替え後

FY2007.1Q

連結売上高明細(国内／海外、事業別)

国内外ともに前年同期を上回るが、国内が計画に未達
IAB、ECB、AECで前年同期を上回るが、計画にはAECとその他以外は未達

(億円)

国内／海外	07/3期 1Q 実績	08/3期 1Q 実績	前年同期比 %	08/3期 1Q 計画	計画比 %
国内	769	784	101.9%	854	91.8%
海外*	761	977	128.5%	971	100.7%
合計	1,530	1,761	115.1%	1,825	96.5%

* 直接貿易は海外に含む

事業別	実績	実績	%	期初計画	%
IAB	718	779	108.4%	813	95.8%
ECB	269	382	141.7%	425	89.8%
AEC	215	273	127.3%	252	108.5%
SSB	139	138	99.2%	145	95.3%
HCB	151	148	98.5%	156	95.1%
その他	38	41	109.5%	34	120.4%
合計	1,530	1,761	115.1%	1,825	96.5%

* 07/3期 1Q実績は非継続事業組替え後

FY2007.1Q

連結営業利益(事業別)

車載電装品(AEC)、健康機器(HCB)は堅調に推移するも
制御機器事業(IAB)、電子部品(ECB)は計画未達

(億円)

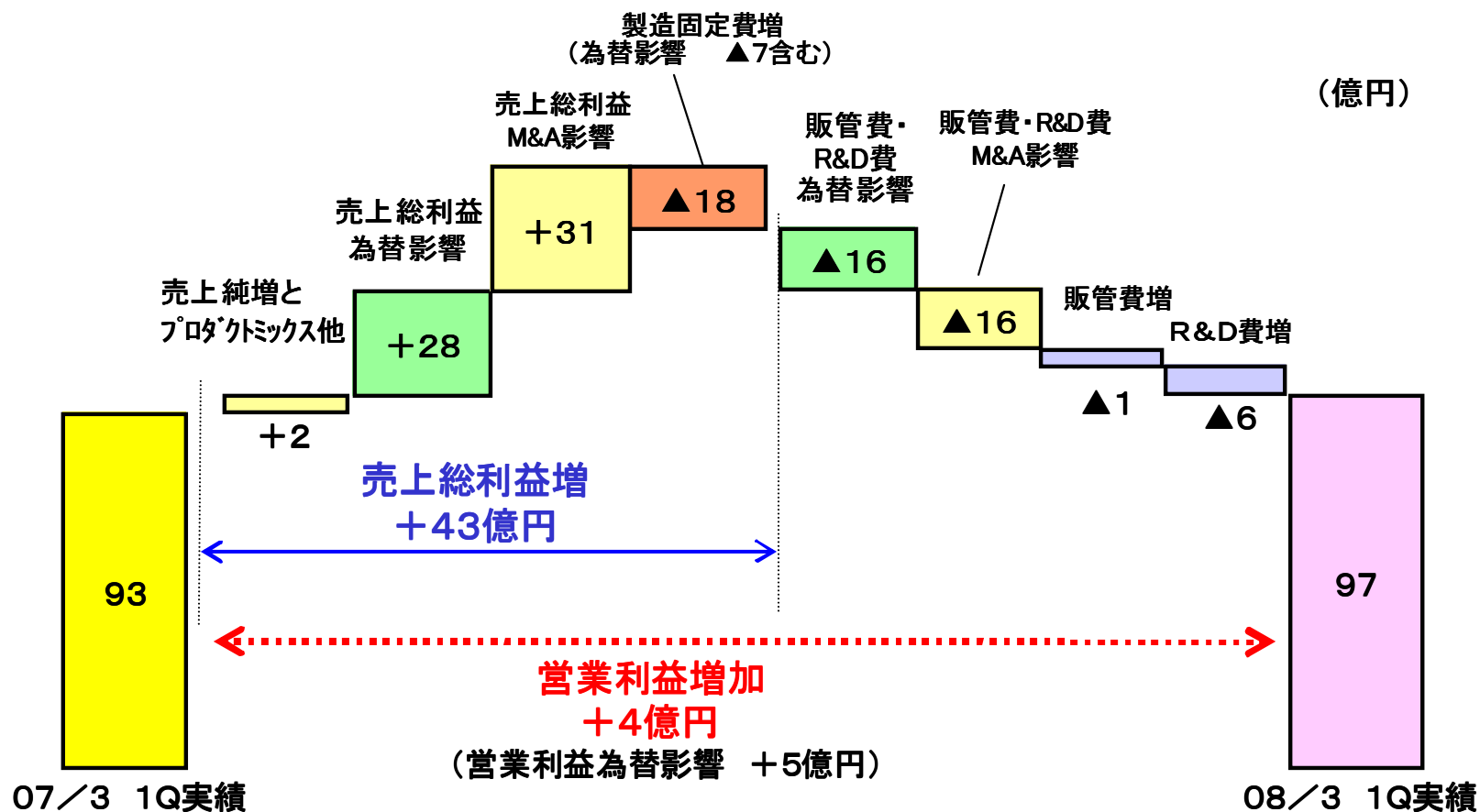
事業別	07/3期 1Q 実績	08/3期 1Q 実績	前年同期比 %	08/3期 1Q 計画	計画比 %
IAB	113	107	94.2%	137	77.9%
ECB	26	25	94.4%	34	72.9%
AEC	▲ 8	5	-	1	401.6%
SSB	▲ 18	▲ 15	-	▲ 18	-
HCB	18	14	77.0%	11	122.7%
その他	1	1	124.7%	▲ 4	-
本社費他消去	▲ 40	▲ 40	-	▲ 46	-
合計	93	97	104.1%	115	84.1%

* 07/3期 1Q実績は非継続事業組替え後

FY2007.1Q

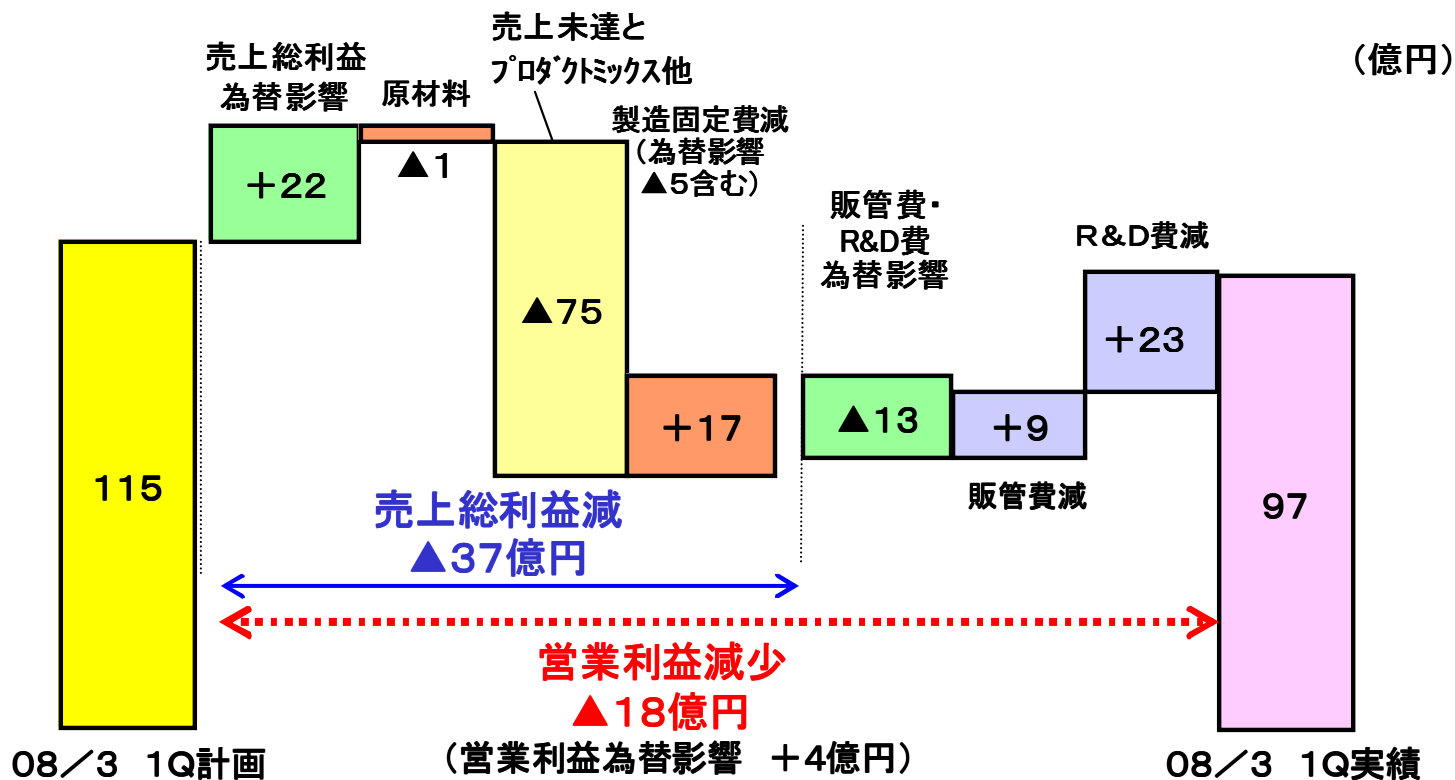
連結営業利益差異分析(対前年同期比)

売上純増やM&Aのプラス寄与がプロダクトミックスや固定費増で相殺され
為替影響により前年同期比微増



連結営業利益差異分析(対計画比)

売上未達による売上総利益減を固定費の抑制でカバーできず
営業利益は計画を下回る



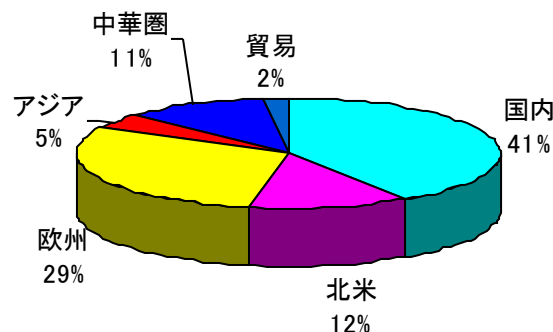
IAB (インダストリアルオートメーションビジネス)

前年同期比8%増で売上高779億円、営業利益率13.7%
国内は前期末需要の反動とアプリケーション事業強化の成果遅れで計画比マイナス
海外は堅調に推移

(億円)

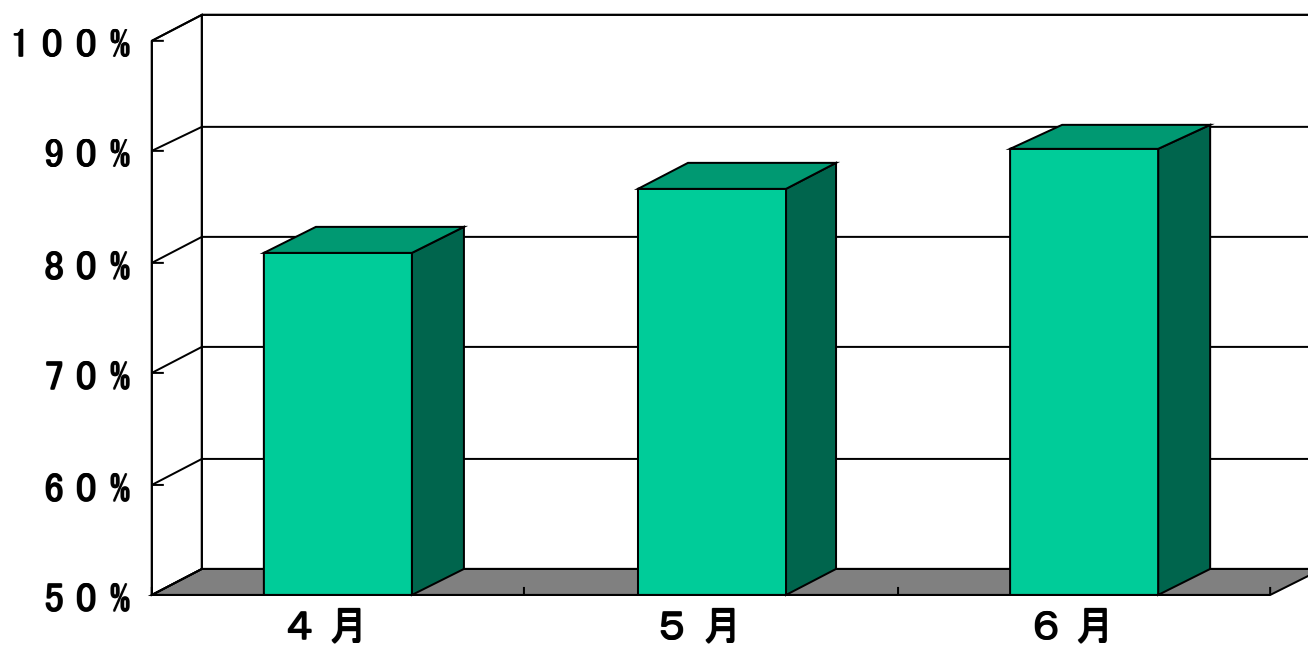
IAB	07/3期 1Q 実績	08/3期 1Q 実績	前年同期比 %	08/3期 1Q 計画	計画比 %
国内売上高	330	318	96.5%	367	86.8%
海外売上高	389	460	118.5%	447	103.1%
北米	75	95	126.3%	95	100.6%
欧州	198	229	116.0%	217	105.6%
アジア	32	36	110.3%	35	102.6%
中華圏	67	86	128.5%	83	102.8%
貿易分	17	15	88.5%	17	87.5%
売上総合計	718	779	108.4%	813	95.8%
営業利益	113	107	94.2%	137	77.9%
営業利益率	15.7%	13.7%		16.8%	

地域別売上構成比



自動車、電子部品、および台湾・韓国FPD関連の実需落ち込みもあり、本格的な回復には至っていない。
昨年度末の需要増の反動などで計画は未達だが、月を追うごとに計画値に近づいている

<IAB国内売上計画比推移(2008年3月期 第1四半期)>



IABの状況

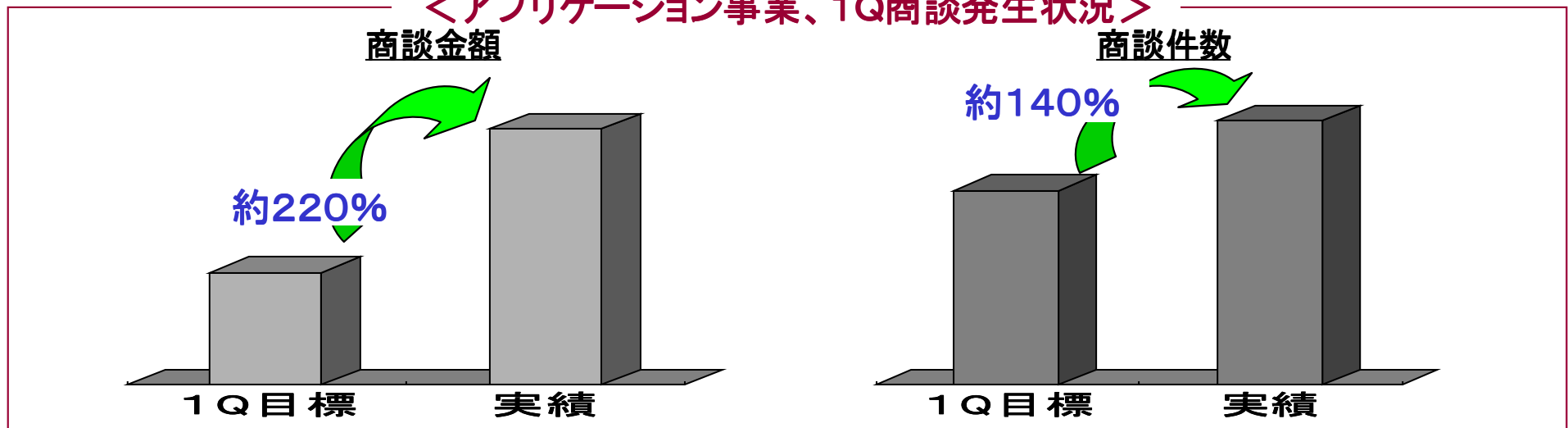
IAB国内 2Q以降のリカバリー見込み

2Q以降、アプリケーション事業の活動・商談決着の加速、市場環境変化への対応強化により、通期での計画達成を見込む

	1Q状況	2Q以降のリカバリー見込み
アプリケーション事業強化による成長	<ul style="list-style-type: none"> 国内営業新体制・施策の立ち上がり段階 活動量は飛躍的に増大するも、商談発生から商談決着までにはタイムラグがある 	<ul style="list-style-type: none"> 2Qより施策の本格的実行 2007年度から着手した施策による商談件数大幅増の傾向を、2Q以降も更に強化・加速し、売上増につなげていく。 注力4業界への積極的な直販促を実行する
市場の伸びに期待する成長	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度末の需要増の反動 電子部品および自動車客先実需の落込み FPD業界(特に台湾・韓国)の設備投資の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 特に自動車、FPD、半導体の市場環境変化への対応を強化することにより、2Q以降の回復を見込む

アプリケーション事業の状況： 商談件数、金額とも目標を大きく上回るが、商談決着にはタイムラグがある

＜アプリケーション事業、1Q商談発生状況＞



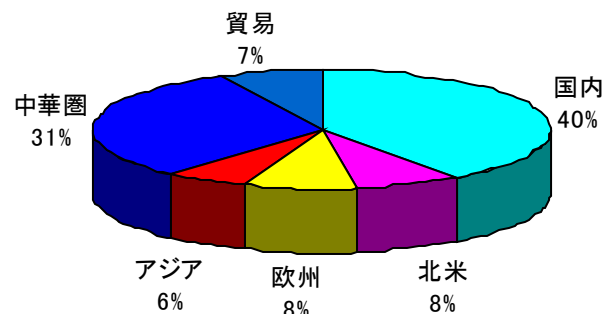
ECB(エレクトロニクスコンポーネンツビジネス)

前年同期比42%増で売上高382億円、営業利益率6.5%
 小型バックライト事業(オムロンプレジジョン)、アムusement事業が低調で計画未達

(億円)

ECB	07/3期 1Q 実績	08/3期 1Q 実績	前年同期比 %	08/3期 1Q 計画	計画比 %
国内売上高	120	153	127.2%	173	88.1%
海外売上高	149	229	153.4%	252	90.9%
北米	27	29	105.0%	30	94.5%
欧州	28	31	108.2%	31	97.4%
アジア	18	23	124.4%	22	105.6%
中華圏	37	120	321.3%	142	84.0%
貿易分	38	27	71.9%	26	104.0%
売上総合計	269	382	141.7%	425	89.7%
営業利益	26	25	94.4%	34	72.9%
営業利益率	9.8%	6.5%		8.0%	

地域別売上構成比



FY2007.1Q

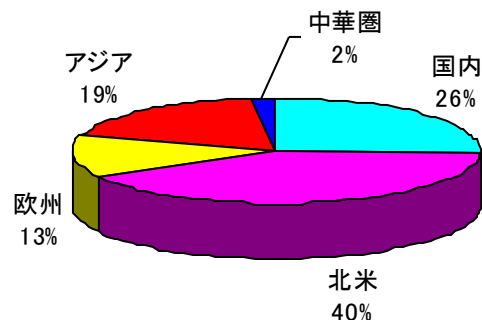
AEC(オートモーティブエレクトロニックコンポーネンツ)

前年同期比27%増で売上高273億円、営業利益率1.9%
国内堅調、為替のプラス影響による売上増加や生産体制の見直しに伴い、
営業利益黒字確保

(億円)

AEC	07/3期 1Q 実績	08/3期 1Q 実績	前期同期比 %	08/3期 1Q 計画	計画比 %
国内売上高	65	70	107.5%	60	117.4%
海外売上高	150	204	135.9%	193	105.7%
北米	87	113	130.2%	112	100.9%
欧州	23	34	150.1%	32	108.5%
アジア	38	51	132.8%	44	116.6%
中華圏	2	5	282.1%	5	101.3%
貿易分	0	0	-	0	-
売上総合計	215	273	127.3%	252	108.5%
営業利益	-8	5	-	1	401.6%
営業利益率	-	1.9%		0.5%	

地域別売上構成比



SSB (ソーシャルシステムズビジネス)

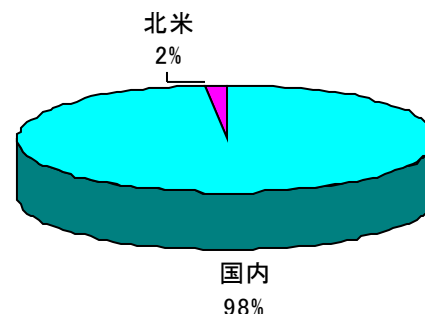
売上高138億円、テーマの2Qへの期ズレ等で売上計画未達も
営業利益ベースで改善

(億円)

SSB	07/3期 1Q 実績	08/3期 1Q 実績	前年同期比 %	08/3期 1Q 計画	計画比 %
国内売上高	139	136	97.8%	140	97.0%
海外売上高	0	2	495.0%	5	49.2%
北米	0	2	469.4%	3	85.1%
欧州	0	0	-	0	-
アジア	0	0	-	0	-
中華圏	0	0	-	0	-
貿易分	0	0	-	2	5.6%
売上総合計	139	138	99.2%	145	95.4%

営業利益	-18	-15	-	-18	-
営業利益率	-	-		-	

地域別売上構成比



HCB (ヘルスケアビジネス)

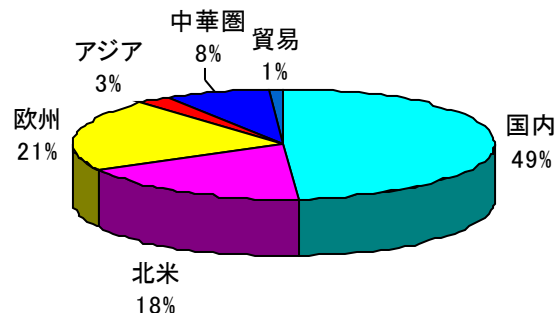
売上高148億円、営業利益率9.3%
国内医療機器売上が軟調。海外は米国の落ち込みを中国でカバー

(億円)

HCB	07/3期 1Q 実績	08/3期 1Q 実績	前年同期比 %	08/3期 1Q 計画	計画比 %
国内売上高	78	72	92.4%	82	88.8%
海外売上高	72	76	105.3%	74	102.0%
北米	30	27	89.6%	28	94.8%
欧州	28	31	110.0%	32	98.2%
アジア	3	5	143.7%	4	108.6%
中華圏	7	12	163.5%	9	132.2%
貿易分	4	2	45.3%	1	118.9%
売上総合計	151	148	98.5%	156	95.1%

営業利益	18	14	77.0%	11	122.7%
営業利益率	11.9%	9.3%		7.2%	

地域別売上構成比



FY2007.1Q

連結貸借対照表

利益剰余金、為替換算差額、有価証券の含み益の増加等で資本が増加
M & Aにより事業用資産(売上債権・在庫・投資その他資産)が前年同期比増加

(億円)

連結B/S	2006年6月	2007年3月	2007年6月
総資産	5,569	6,303	6,318
現預金	589	430	446
売上債権	1,170	1,734	1,577
在庫	874	941	1,016
その他流動資産	295	315	317
固定資産	1,508	1,593	1,606
投資その他資産	1,133	1,290	1,356
総負債	1,963	2,475	2,272
短期借入金	29	201	192
長期借入金	12	17	14
その他負債	1,922	2,257	2,066
資本	3,606	3,828	4,046

FY2007.1Q

連結キャッシュフロー

将来に向けた事業買収により、投資活動によるキャッシュフローは75億円の支出

連結CF	(億円)		
	2006年6月	2007年6月	(参考) 2007年3月
営業活動によるキャッシュフロー	67	141	405
投資活動によるキャッシュフロー	23	▲75	▲471
FCF	90	66	▲66
財務活動によるキャッシュフロー	▲36	▲65	▲47
換算レート変動の影響	12	16	19
期中の増減額	66	16	▲93
期末の現金残高	589	446	430

3. 上半期ならびに通期業績見通し



当初計画値より変更なし

(億円)

	07/3期 上期 実績	08/3期 上期 見通	前年同期比 増減 %	08/3期 上期 計画	計画比 増減 %
売上高	3,241	3,750	115.7%	3,750	100.0%
売上総利益	1,256	1,415	112.7%	1,415	100.0%
販管費	782	830	106.1%	830	100.0%
R&D費	241	285	118.4%	285	100.0%
営業利益	233	300	128.9%	300	100.0%
税引前利益	291	290	99.6%	290	100.0%
継続事業純利益	143	170	118.6%	170	100.0%
非継続事業純利益	5	30	652.2%	30	100.0%
純利益	148	200	135.2%	200	100.0%

* 07/3期 1Q実績は非継続事業組替え後

当初計画値より変更なし

(億円)

	07/3期 通期 実績	08/3期 通期 見通	前年比 増減 %	08/3期 通期 計画	計画比 増減 %
売上高	7,239	8,000	110.5%	8,000	100.0%
売上総利益	2,782	3,095	111.2%	3,095	100.0%
販管費	1,642	1,780	108.4%	1,780	100.0%
R&D費	520	565	108.6%	565	100.0%
営業利益	620	750	120.9%	750	100.0%
税前利益	643	720	112.0%	720	100.0%
継続事業当期純利益	371	430	115.9%	430	100.0%
非継続事業当期純利益	12	30	253.0%	30	100.0%
当期純利益	383	460	120.2%	460	100.0%

* 07/3期 1Q実績は非継続事業組替え後



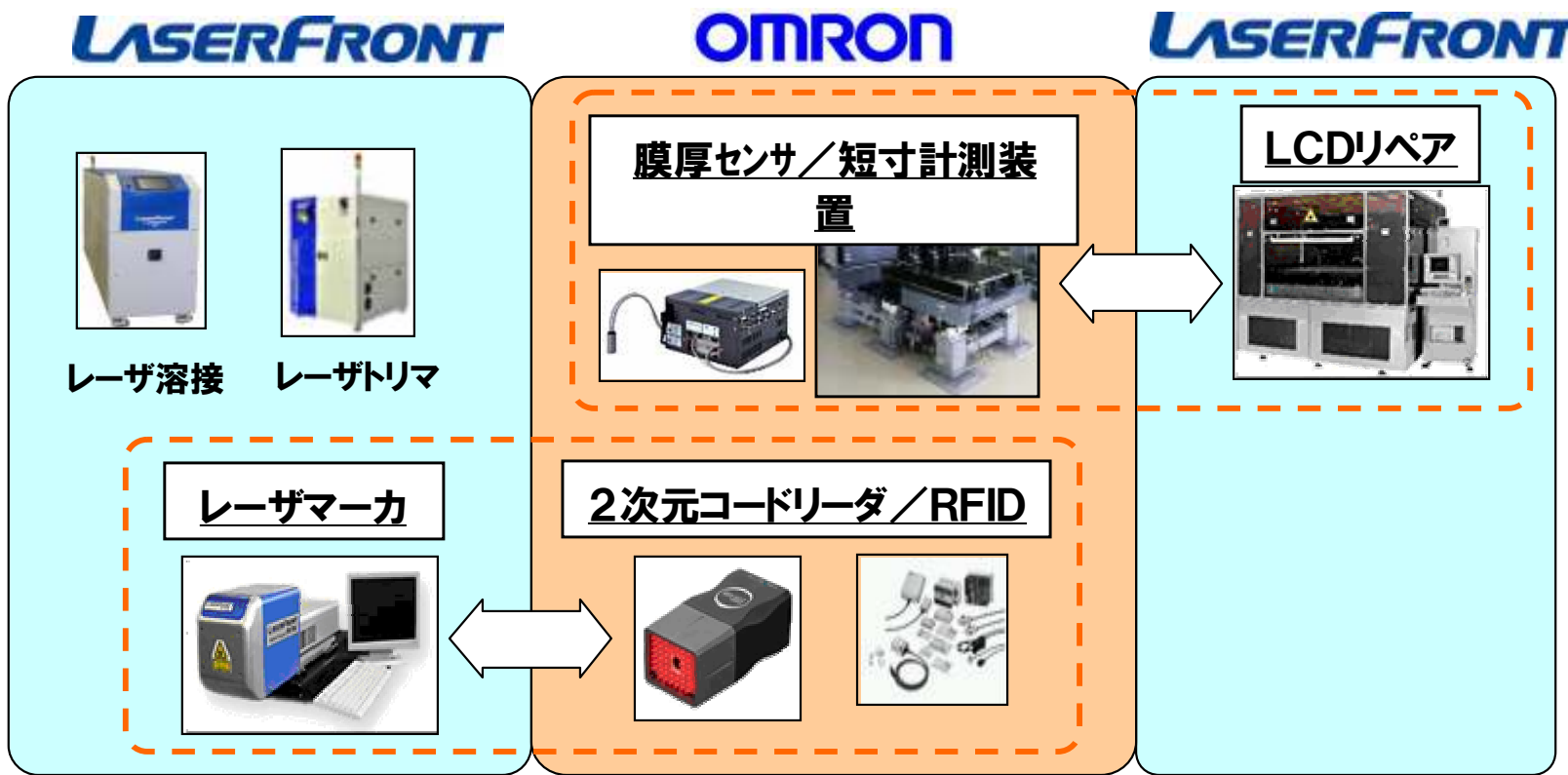
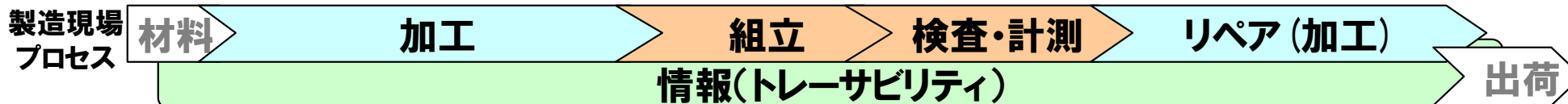
(参考情報 1)

M & Aの状況



IABの「検査・計測」事業とLFT社の「レーザー加工事業」が連携することで、高度なものづくりを支援し、トータルな品質を提供

第2Qより
連結組入れ



レーザー微細加工技術 融合 センシング&コントロール技術

06年9月に米国のセーフティ機器トップ企業STI社を買収（現OSTI）
日本での強みと合わせてグローバルでのトップシェアを狙う

07年度は通年で寄与

米国でトップシェア
OSTI ライトカーテン




セーフティ機器
・ライトカーテン
・レーザースキャナー
コンサルSE
得意業界顧客

日本でトップシェア
OMRON コントローラ



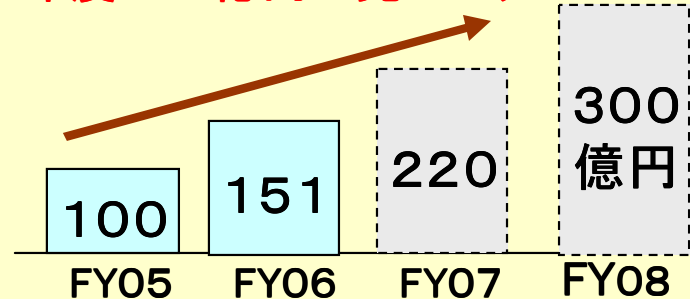
レーザースキャナー

QCD+S
グローバル販売網

セーフティコンポ

08年度300億円の売上でグローバルシェアNo1をめざす。

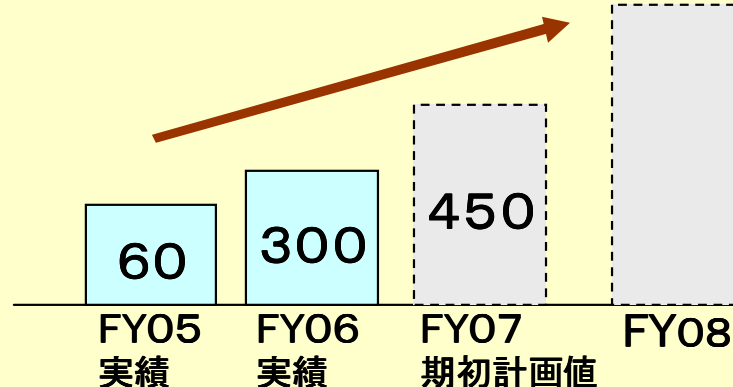
セーフティ事業の
売上目標



小型バックライトで世界No.1を維持し、
 中型バックライト(カーナビ向け)も本格展開を行う
 大型バックライトは戦略的協業で、事業の安定成長を目指す

OPTは07年度
 通年で寄与

小型BL



オムロンの光学制御技術、
 微細加工技術と
 OPTの生産技術力の融合で
 売上拡大をめざす。

戦略的な協業で、安定的に事業を成長させる

大型BL

ランプメーカー

TVメーカー

パネルメーカー

部材メーカー

- ・超薄型BLの開発
- ・ローコスト化の実現



(参考情報 2)

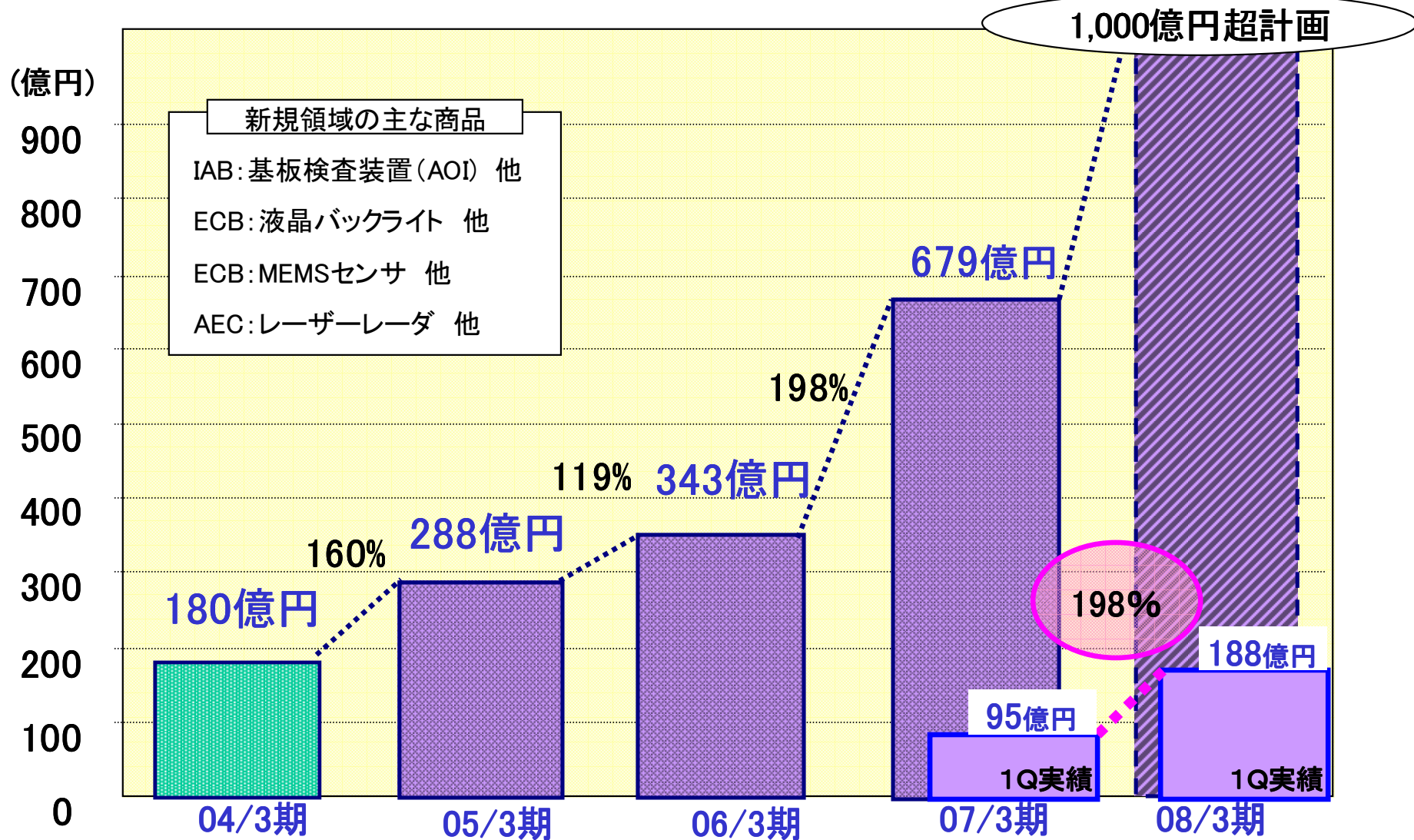
重点戦略の進捗状況



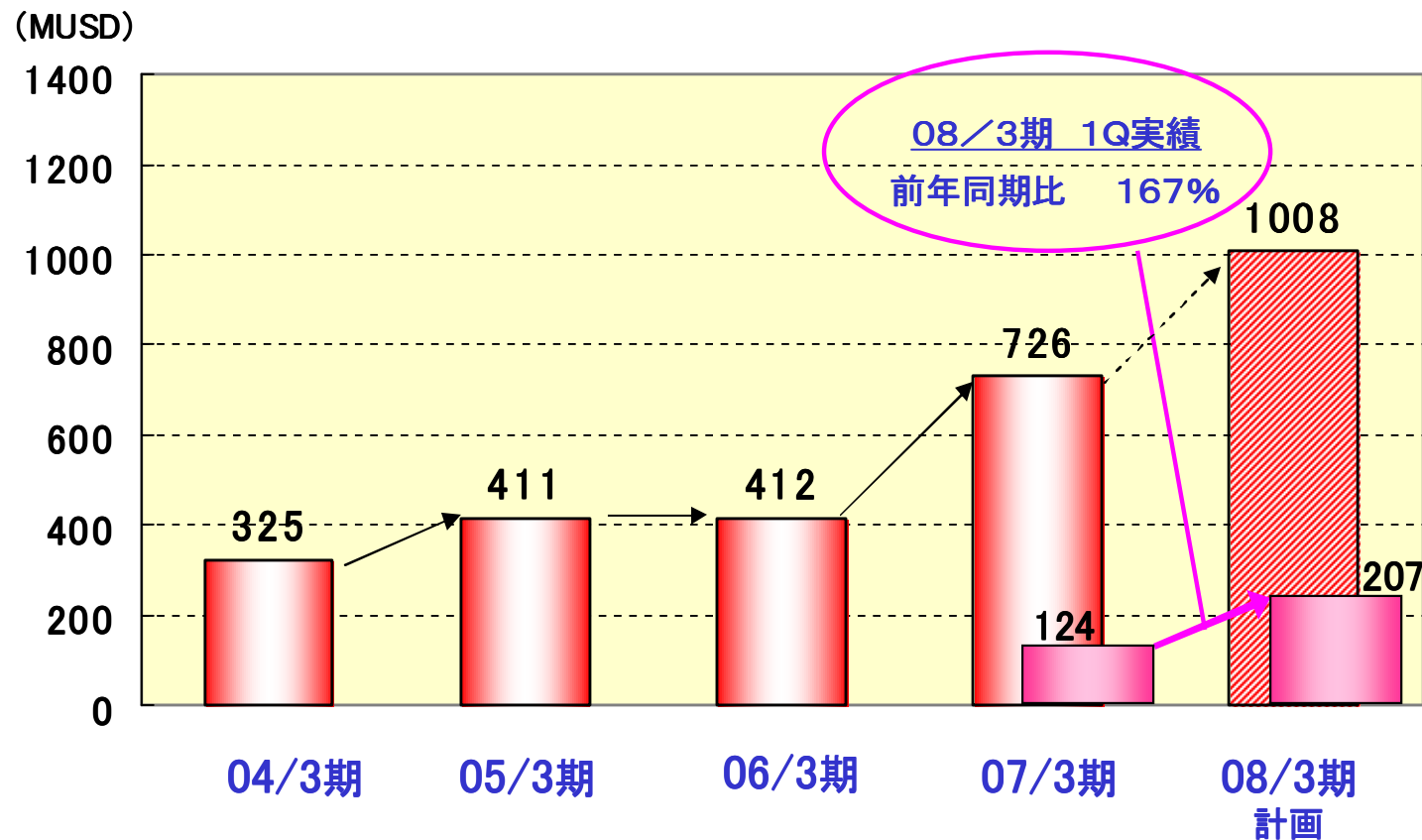
重点戦略の進捗状況 (1)新規領域の売上成長

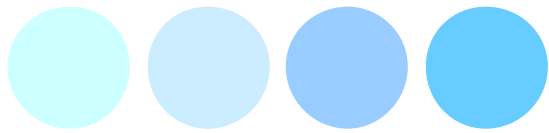
FY2007

オムロンプレジジョンテクノロジーの寄与などにより
前年同期比大幅増加



オムロンプレジジョンテクノロジーの売上が寄与し前年同期比167%と大幅成長





人と機械のベストマッチングをめざして

オムロン株式会社



＜お問い合わせ＞

グループ戦略室 経営IR部

電話: 03-3436-7170

Email: omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス: www.omron.co.jp

